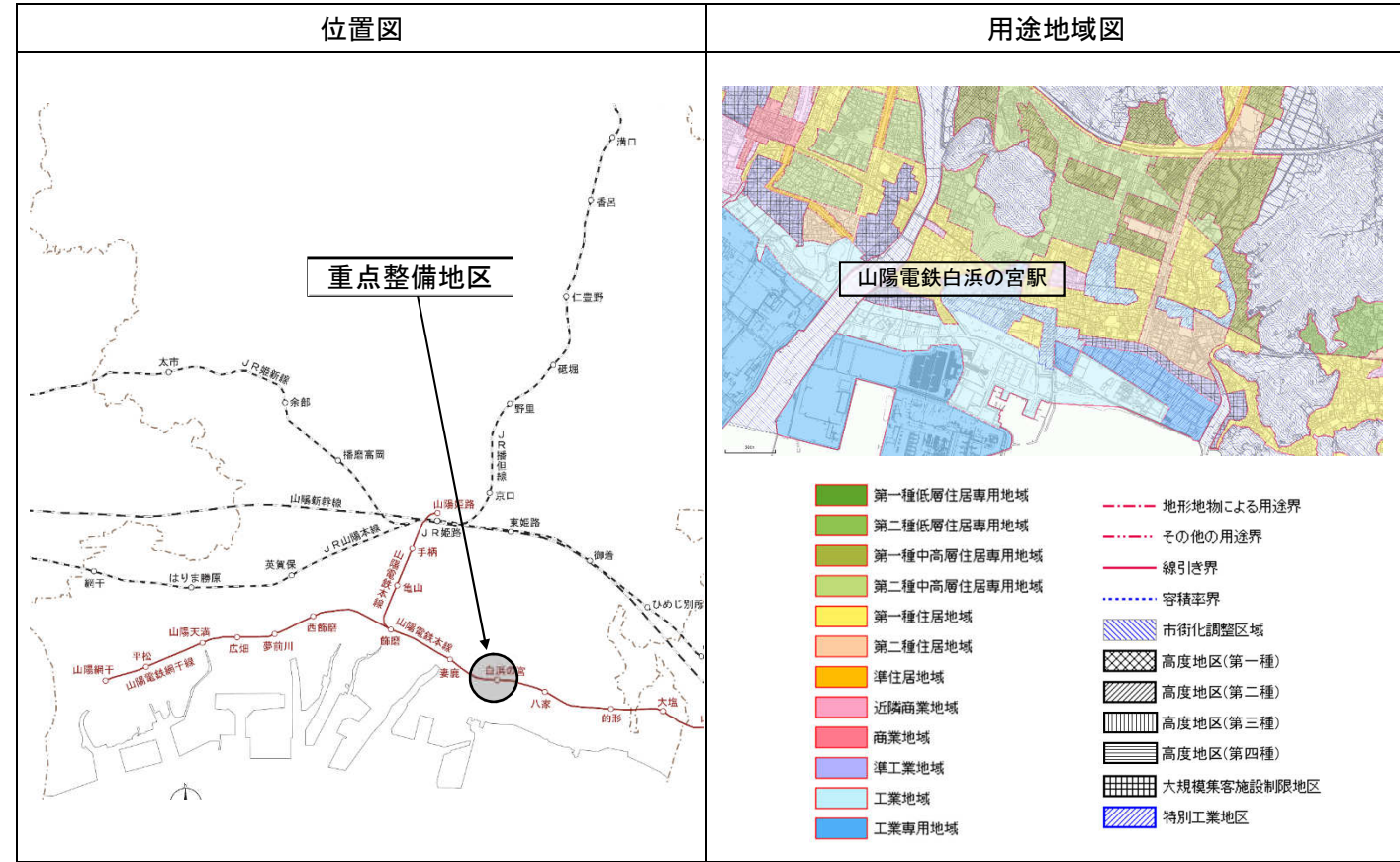


**山陽電鉄白浜の宮駅周辺地区【概況】**



**地区特性**

**地区特性**

**【地区の特性】**

- 山陽電鉄白浜の宮駅は、1日当たり乗降客数5,123人（令和元年度（2019年度））であり、駅周辺は住居系土地利用となっている。
- 駅構内及び自由通路北側にエレベータが設置されている。また、平成30年（2018年）3月には、駅舎南側の駅前広場、駐輪場及びエレベータ付き自由通路が整備され、交通結節機能の強化が図られている。
- 夏期には各地から白浜海浜公園で潮干狩りや海水浴を楽しむ人が集まり、毎年秋に開催される「灘のけんか祭り」は全国的に知られており、多くの集客が見られる。
- 駅周辺には、駅の南側に主要な施設として姫路市役所白浜支所、図書館白浜分館、白浜公民館等の公共施設が分布している。また、白浜小学校の南東に「灘のけんか祭り」が行われる松原八幡神社がある。
- 山陽電鉄白浜の宮駅周辺地区は、総合計画の中では「多核連携型都市構造の地域交流拠点」として位置づけられている。

**【バリアフリーから見た主な現況と課題】**

- ① 鉄道駅
  - 駅舎は橋上駅であり、南北双方に出入口があり、南北にエレベータが整備されバリアフリー化が図られている。
  - 一般トイレの改良及び車いす利用者等が利用できる多機能トイレの整備が平成22年度（2010年度）に完了している。
  - 改札口は1ヶ所のみで、巡回駅（無人駅）となっていることから、周辺案内情報提供の充実が課題となる。
- ② 駅前広場
  - 駅前広場が整備され、交通結節点として機能向上が期待できる。
  - 山陽電鉄から他の交通機関に乗り継ぐルートについて、上屋の設置に関する要望が多い。
- ③ 道路
  - 駅にアクセスする経路に十分な幅員の連続した歩道を整備することが課題である。

**【データ】**

- (1) 山陽電鉄白浜の宮駅
  - ① 1日平均乗降客数…5,123人/日（令和元年度）
  - ② 駅の概要
    - ・構造……………地上
    - ・駅舎……………橋上駅
    - ・ホーム……………相対式2面2線
    - ・改札口……………1
  - ③ 歩道橋・跨線橋
    - ・橋上駅併設型1基
    - ・階段……………（北・南）各2
    - ・エレベータ……………（北・南）各1



山陽電鉄白浜の宮駅周辺地区【現況図】

